

■金成マツ ユーカラ伝承者。金田一京助と運命的な出会い、膨大な口承の一部が「アイヌ叙事詩ユーカラ集」に。

かんなりまつ

初の民間工場1875＝ 北海道幌別郡幌別村で、巨曾カンナリキとユーカラ伝承者モナシノウクの間にも生まれる。

妹はやはりアイヌ文化の伝承者となった知里ナミ。

明治14年政変1881＝ 6歳：

新体詩抄・・・1882＝ 7歳：父と死別。

秩父事件・・・1884＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝14歳：

帝国議会始・・・1890＝15歳：怪我のため半身不随となる。

大本教・・・1892＝17歳：妹とともに、函館の聖公会伝道の愛隣学校に入学、

郡司千島探検1893＝18歳：

日清戦争始・・・1894＝19歳：受洗、

子規句歌革新1898＝23歳：卒業すると、妹とともに、日高の開拓伝道にあたり、

教科書疑獄・・・1902＝27歳：

日露戦争終・・・1905＝30歳：

終生独身であったが、

伊藤博文暗殺1909＝34歳：旭川の母の妹ナミの娘知里幸恵(真志保の姉)を引取って養女とし、進学させる。旭川郊外近文の教会に勤めて、布教活動を行う。

大逆事件判決1911＝36歳：

明治天皇没・・・1912＝37歳：

本格政党内閣1918＝43歳：*ユーカラ調査中の金田一京助と出会い、その勧めで、養女幸恵がアイヌ伝承文学の筆録を志し、モナシノウクのユーカラを受け継いで、

大暴落・・・1920＝45歳：

原敬首相暗殺1921＝46歳：

水平社結成・・・1922＝47歳：「アイヌ神謡集」をまとめたが、その校正中に19で死去、

関東大震災・・・1923＝48歳：*金田一の手によって刊行され、その励ましを受けて、幸恵の遺志を継ぐことを決意、

共産党事件・・・1928＝53歳：*伝道婦を辞めて、以後、ユーカラの筆録に専念、

世界恐慌・・・1929＝54歳：

満州事変・・・1931＝56歳：

マツはとくに“人間のユーカラ”を好み、語り口はやや地味であったが、女性に関する描写に秀でていた。

日中戦争始・・・1937＝62歳：

健保+総動員 1938＝63歳：

母モナシノウクの伝承するユーカラを受け継ぎ、

日米開戦・・・1941＝66歳：

年金+総武装 1944＝69歳：この年まで続け、*ローマ字で筆録したノート約160冊を、金田一京助と甥の知里真志保に残した。

敗戦・・・1945＝70歳：

新憲法施行・・・1947＝72歳：

国連加盟・・・1956＝81歳：無形文化財保持者に指定され、紫綬褒章を受章。

美智子妃・・・1959＝82歳：ノートの一部が金田一と幸恵の弟真志保の訳注を付して「アイヌ叙事詩ユーカラ集」出版開始されるなか、

タイタイ病始・・・1961＝86歳：没した。

9巻(1959 - 66)として出版された。その中には8920行に及ぶ長大な作品も含まれる。

平凡社百科事典、